

PT制について

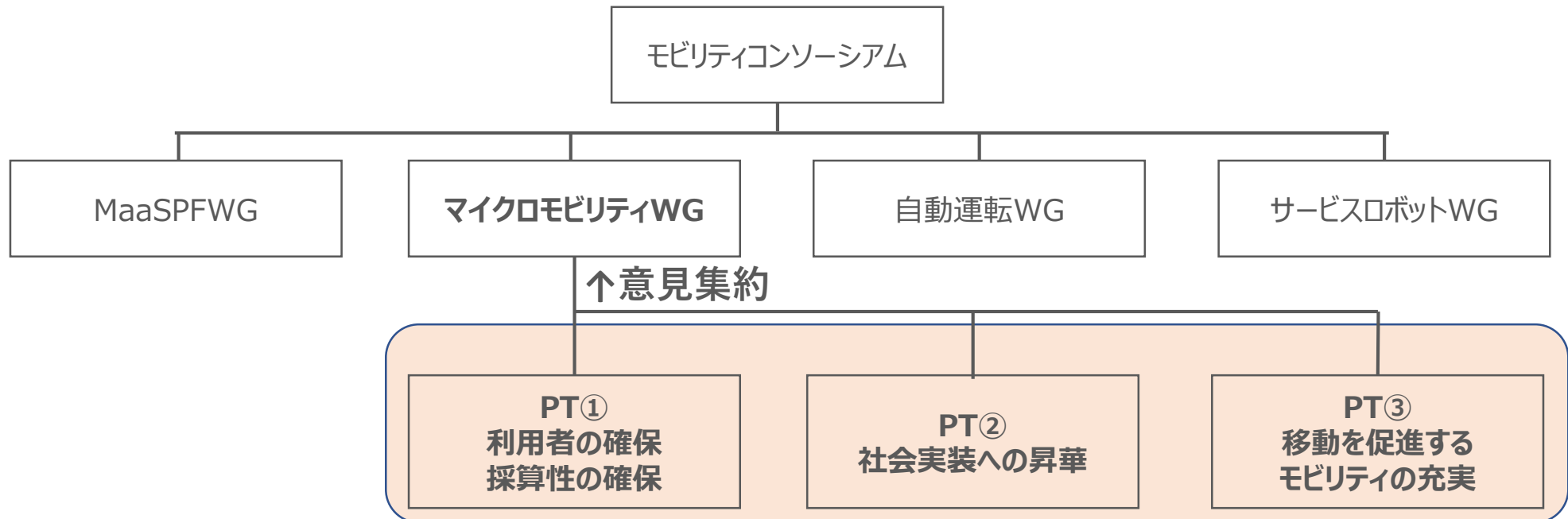
目的：PT単位での検討・ディスカッションを円滑化する

※参加意向：参加は強制ではなく任意

PTの役割：各PTでの課題の深堀/ディスカッション/意見集約/ゴールの設定

PTリーダー様：PT内での意見集約、運営

PTメンバー様：ディスカッション

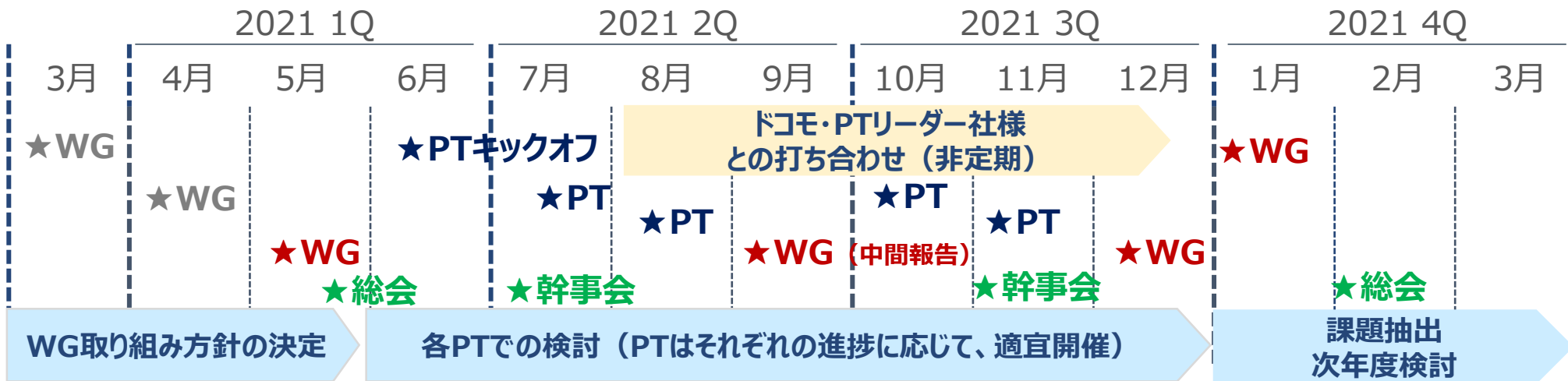


これまでのWGでの取り組み紹介を踏まえ、3つの課題を抽出
各課題に対してPTを作成し、WGとして実証実験や意見提案書の作成を目指す

課題	検討項目	各社様からの回答（5月18日現在）
利用者の確保 採算性の確保	- デジタルを活用したお客様の誘客、送客 - 各種モビリティを一括利用できる方法やサブスク等のメニューの多様化	ヴァル研究所様、JTBコミュニケーションデザイン様、幕張メッセ様
社会実装への昇華	- 安全性（自動運転の事故等）の検討 - 施設内～施設外シームレスな移動 - 各種リスク・調整項目の洗い出し	MS&ADインターリスク総研様、千葉大学様、長谷川工業様
移動を促進する モビリティの充実	- 横・縦（拠点間）を移動する手段や病院や新駅の利用を想定したモビリティの検討 - 街の賑わいや住民の回遊の活性化につながるモビリティの検討	アイシン様、久留米工業大学様、三井住友海上火災保険様、建設技術研究所様、ベイタウン自治会連合会様

【今後の予定】

- ・5月26日（水）：総会
- ・6月中：各PTでのキックオフ開催



開催頻度・ゴール設定については別途WG（PT）内検討する